

ICTを活用した情報収集システム「ひぐまっぴ」の運用

# ヒグマによるあつれき情報の収集と共有のために

★本研究成果とそれに基づく森町の取り組みが総務省「ICT地域活性化大賞2017」優秀賞を受賞！

## 背景

- ・ヒグマの適正な保護管理には、科学的根拠に基づいて生息状況やあつれき動向を把握することが重要
- ・あつれき動向の指標となるヒグマの問題個体数を推定するためには、正確な出没情報を収集することが必要

## 成果

◎ヒグマ出没情報収集システム「ひぐまっぴ」の共同開発・運用により、市町村・北海道・道総研間のリアルタイム情報共有が可能に！



### 情報精度の向上

- ✓ Web上の共通入力様式・地図の利用で情報精度が飛躍的に向上
- 情報収集の作業効率化とリアルタイムの情報共有**
- ✓ 共通プラットフォームへの簡単な入力です務量が軽減
- ✓ クラウド入力システムで入力後即時に情報共有可
- ✓ 隣接市町村の出没情報も横断的に即時共有・分析可
- ✓ 森町では町内の出没情報をホームページで町民に公開

### ひぐまっぴの導入による具体的な効果

	情報共有の 所要時間	市町村 事務量*	市町村 コスト*	住民への 情報提供**
導入前	~1年	1,240時間	2,215千円	手入力
導入後	即時	420時間	750千円	自動化

\* 森町の例を基準に、渡島半島地域20市町村を対象とした場合の人員費の試算結果  
 \*\* 森町の例

## 期待される効果

- ・質の高いデータの収集・活用により、適正な保護管理対策に不可欠な問題個体数の推定精度が向上。
- ・全道各地でヒグマ出没動向を迅速に把握できるようになり、人身事故などあつれきの軽減が大いに期待。